

巡回拠点なでしこ

かがやき

つうしん

北区立なでしこ小学校校長 戸倉 務

巡回拠点なでしこ 巡回指導教員

令和6年6月1日発行 第3号

巡回拠点なでしこ直通: 3901-2622



あじさいの花が少しずつ色付き始め、梅雨の気配を感じる時期となりました。梅雨による寒暖差と新学期の疲れから体調も崩しやすい時期です。雨の日が続くと外遊びもできず、ストレスも溜まりやすくなります。しっかり体調管理をして乗り切っていきましょう。今後も引き続き、子供たちが安心して学校生活を送り、大きく成長できるように、励ましていきたいと思えます。

★今後の主な予定★

予定	日程
保護者面談期間	7月1日(月)～18日(木)
7月指導終了	7月11日(木)
9月指導開始	9月3日(火)
1学期巡回指導終了	10月10日(木)
2学期巡回指導開始	10月16日(水)

※予定は変更することもございますので、毎月のお便りでご確認をお願いいたします。

★連携型個別指導計画について★

今年度も、在籍学級担任と巡回指導教員と共同で、連携型個別指導計画を作成します。それに伴い、子供たちの指導目標について各担任の先生方と面談をさせていただいております。保護者の方には、担任の先生方と面談にて話し合ったことや今後の指導についてご報告する予定です。よろしくをお願いいたします。

★保護者面談の予定★

日頃より保護者の皆様には巡回指導にご理解ご協力いただきありがとうございます。支援・指導についてさらなる共通理解を図るために、上記の通り保護者面談を予定しております。

別紙にてお知らせいたします。面談では、教室や巡回指導の様子をお伝えするとともに、ご家庭での子供たちの様子をお知らせいただくことで指導を充実させていきたいと考えています。

ご多用のところ、恐れ入りますが、保護者面談のお知らせにある希望日調査票をご提出くださいますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。



今月のテーマ:「触覚」

触覚は、触ったものの形や素材などによってそれが何であるかを認知する「識別系」の機能と、対象物が自分にとって有害なものかどうかを瞬時に判断する「原始系」の機能を備えています。

《識別系触覚》

一般的な触覚。例えば、色々なものが入っているポケットの中から手探りでコインだけを取り出すなど、目で確認しなくても触れたものの素材や形、大きさなどを認知します。

《原始系触覚》

瞬時に敵を感じて攻撃、逃走したり、えさになるものを判断してパッと取り込んだりという、本能的な感覚の使われに由来しています。



《触覚防衛反応》

他人に触れられるのを嫌がって押しつける、服の特定の素材に拒否反応を示す、苦手な触感の食べ物を吐き出すなどの行動は、「原始系」の触覚反応によるものです。これを「触覚防衛反応」といいます。成長していくにつれ、触覚防衛反応は軽減されていくものですが、なかには適切な発達支援を行わなければ、なかなか軽減できないケースもあります。どちらの場合も、「識別系」の触覚の経験を重ねることで情報が整理され、「原始系」の反射的な行動にブレーキをかけることができるようになることで、触覚防衛反応が軽減されます。



【触覚が鈍感だと】

- 何かにぶつかったり、けがをしたりしても痛がらず、平気である。 • つめや鉛筆をかむ。
- 腕に歯形を付けるほど強くかむなど、自傷的な行動をする。 • 手に触れたものをすぐ口にする。
- 食べ物をよくかまずに飲み込む。 • 他人とのほどよい距離感をつかめず、近づきすぎるなど。

【触覚が敏感だと】

- 自分から人に触ることはできるのに、人から触られると嫌がる。
- 頭をなでられたり、手足を触られたりするとビクッとなる。 • 帽子、マスク、靴下を嫌がる。
- つめ切りや髪を切られるのが苦手。
- 服の素材や襟の具合など、衣服への違和感が強く、服装へのこだわりが強い。

→つまずきを軽減するには、触覚を使った経験を丁寧に積み上げ、識別系の働きを活性化していくことが大切です。敏感な子にとっては、識別系の触覚を整えることで、原始系にブレーキがかかります。例えば、頭を触られるのをいやがる子にブラッシングをするときに、ブラシを持つ子供の手に大人が手を重ねます。こうすることで、能動的な動きに他者が介入する時間を作り出すことができます。